

## 脳卒中内科

橋川一雄

脳卒中内科は脳神経外科と協力して脳卒中治療の24時間体制を取り、その中で当科は脳梗塞や一過性脳虚血発作などの虚血性脳卒中を担当しています。当科はスタッフ全員が脳卒中専門医であり、その中に脳神経血管内治療専門医、日本神経学会専門医、脳神経超音波の専門医や核医学専門医がいるなど脳卒中診療に特化した内科部門である。

近年、急性期脳梗塞治療の進歩にはめざましいものがあります。2005年10月にrt-PA静注による血栓溶解療法が承認され、その後2010年4月に脳血管内治療であるMericiによる血栓回収療法が開始されました。その後、新しいデバイスの開発や治療法の進歩があり、治療成績は飛躍的に向上しました。2014年10月にはMR CLEAN、ESCAPE、EXTEND-IAおよびSWIFT PRIMEと計4つのランダム化された大規模研究によって脳梗塞急性期治療における脳血管内治療の有効性が証明され、各種のガイドラインでも標準的治療と認められるようになりました。当院においても脳梗塞急性期患者に対してrt-PA静注療法のみならず適応あれば脳血管内治療を積極的に行っています。

動脈硬化によって頸動脈が狭くなる頸動脈狭窄症は脳梗塞の原因となります。頸動脈狭窄症はその程度に応じて外科治療が必要になることがあります。治療には手術によって血栓を取る頸動脈内膜剥離術とカテーテルによってステントを留置して狭窄部位を広げる頸動脈ステント留置術があります。当科では脳外科と協力して頸動脈ステント留置術を施行しています。また、脳ドックのMRIによって無症候性脳梗塞（隠れ脳梗塞）や頭蓋内血管に狭窄が見つかることがあります。また、最近ではMRIの撮像法の進歩によって隠れ脳出血（微小脳出血）が見つかることも増えています。これらの病巣は将来の脳卒中や認知症発症を予見させる所見です。当科では、これらの所見を有する患者の精査を行っています。脳MRI/MRA、頸動脈エコー、経食道心エコー、脳血流SPECTや脳血管撮影などを行い脳卒中発症の危険因子を調べ、必要な治療や生活改善の指導を行っています。

以上のように当科では急性期脳梗塞治療から慢性期の脳卒中危険因子の精査や治療を行っています。脳卒中はチーム医療であり関係部門の緊密な協力が不可欠であるとの考えから、2016年4月には脳卒中内科、脳神経外科およびリハビリテーション部門を合わせて脳卒中センターを開設することになりました。今後は、脳卒中診療の地域基幹病院となるように努力してまいります。

### 【2015年度 研究発表業績】

A-0

Adachi H, Mineharu Y, Ishikawa T, Imamura H, Yamamoto S, Todo K, Yamagami H, Sakai N : Stenting for acute cerebral venous sinus thrombosis in the superior sagittal sinus. Interv Neuroradiol 2015; 21:719-23, 2015年12月

Yasuno F, Hashikawa K, Kabeshita Y, Kudo T, Kishimoto T : Highly selective category-specific deficits of visual processing at a stage of access to the semantic representation. Psychogeriatrics 2015: online, 2015

年 11 月 9 日

A-4

橋川一雄 : Alzheimer 病診断における MRI と SPECT 検査「診断と治療」103 (7) : P.871 - 880、  
診断と治療社、2015 年 7 月 1 日

B-3

山本司郎、村上泰隆、大原寛明、玄 富翰、黒田淳子、永野恵子、藤中俊之、橋川一雄 : 急性期脳梗塞に対する血管内治療における頸動脈エコー検査の有用性。第 31 回日本脳神経血管内治療学会総会、岡山市、2015 年 11 月 20 日

中村雅之、村上泰隆、大原寛明、玄 富翰、山本司郎、小村江美、永野恵子、橋川一雄 : 血小板減少を伴った悪性高血圧の一例。第 38 回 NJM、大阪市、2016 年 3 月 4 日

村上泰隆、大原寛明、玄 富翰、山本司郎、永野恵子、橋川一雄 : 数週間にわたって皮質症状や片麻痺を繰り返した BAD の 1 例。第 4 回近畿脳血管カンファレンス、大阪、2015 年 5 月 30 日

大原寛明、玄 富翰、村上泰隆、木村陽子、山本司郎、小村江美、永野恵子、橋川一雄 : 新規経口抗凝固薬 (NOAC) への変更により左心耳内血栓をきたした 1 例。第 34 回日本脳神経超音波学会、京都市、2015 年 6 月 6 日